

2018. 3. 30

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2017年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2017 年年間回顧)

2017 年のわが国の景気は、円相場が安定し、海外経済の拡大に伴う輸出増などで企業業績が好調な中、個人消費も底堅く推移して緩やかな景気回復基調を辿った。

化繊景況は婦人服など一般衣料用が低調だったが、自動車、衛材用途が堅調に推移した。化繊生産は合繊メーカーの生産の海外移転が進んだことなどで前年比 1.1%の減となり、2012 年の 100 万トンを割れ以降 6 年連続前年を下回った。

国 内

- 1) 衣料用は、全般盛り上りに欠けた。婦人服はじめ一般衣料用の不振が続いたが、ユニフォームワーキング向けは需要が回復、保温肌着の店頭販売は堅調に推移した。輸出は中東民族衣装向けが原油価格の低位安定で現地の消費が冷え込み苦戦、中国向けアクリル S は再輸出用が堅調だったが、中国内需用は日本品への AD 課税やポリエステルへの代替が進み不振。インテリア用は、カーテンのコントラクト需要が堅調だったが、ホームユース向けは低調。カーペットは一服状況となった。衛材用は、中国向け紙おむつの製品輸出が回復して堅調。生活資材用は、スキンケア商品やワイパー向けなどは順調だったが、貼付剤用は不振が続いた。産業資材用は、ポリエステル F 使いのタイヤコード用は織物および強力糸の高水準の輸入が続き、海外調達が殆どを占めた。エアバッグ用は装着部位の拡大やタカタのリコール特需を背景に増量となった。カーシート用は自動車生産の増加で健闘した。土木資材用は低調、建築資材用は需要が一服したが、首都圏の都市再開発事業などに今後期待したい。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）1.4%減、化繊 3.0%減、紡績 3.2%減。在庫指数（期末）は、繊維工業全体が 5.5%減、化繊 8.1%減、紡績 4.5%増となった。（2010 年=100、生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 79.1 億ドル・前年比（以下同じ）0.5%減、一方円ベースでは 8,862.1 億円・2.7%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料 9.3 億ドル・12.4%減、糸類 11.0 億ドル・2.7%増、織物類 24.5 億ドル・2.2%減、二次製品他 34.3 億ドル・3.7%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の 30.7%を占める中国が 1.7%増の 24.3 億ドル、韓国（5.4%減）、台湾（1.4%減）、香港（8.2%減）、アセアン地域は、ベトナム（4.3%増）、タイ（2.8%増）、インドネシア（1.6%減）、マレーシア（12.9%減）となり、それ以外では米州（7.4%増）、西アジア（9.3%減）、欧州（3.0%減）となった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 366.1 億ドル・前年比（以下同じ）0.9%増、一方円ベースは 4兆 1,054.7 億円・4.3%増。形態別（ドルベース）では、繊維原料 6.4 億ドル・9.1%増、糸類 11.7 億ドル 2.1%減、織物 13.3 億ドル・0.04%減、二次製品他 334.7 億ドル・0.9%増。仕出地別では、全体の 60.3%を占める中国が 0.8%減の 220.6 億ドル、韓国（1.3%減）、台湾（6.0%増）、アセアン地域は、ベトナム（6.9%増）、インドネシア（3.5%増）、タイ（3.8%増）、マレーシア（11.9%増）、それ以外では、イタリア（0.5%減）、米国（0.6%減）となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年	2016年比(%)	2015年比(%)
輸出	千ドル	8,135,545	7,941,158	7,905,049	-0.5	-2.8
計	百万円	985,053	863,007	886,211	2.7	-10.0
繊維原料	千ドル	1,596,854	1,061,697	929,702	-12.4	-41.8
糸類	〃	1,069,556	1,070,326	1,099,277	2.7	2.8
織物類	〃	2,484,748	2,502,178	2,448,172	-2.2	-1.5
二次製品他	〃	2,984,388	3,306,957	3,427,898	3.7	14.9
輸入	千ドル	36,928,187	36,280,771	36,613,073	0.9	-0.9
計	百万円	4,466,757	3,935,245	4,105,473	4.3	-8.1
繊維原料	千ドル	610,395	589,126	642,648	9.1	5.3
糸類	〃	1,250,717	1,199,758	1,174,014	-2.1	-6.1
織物類	〃	1,360,762	1,331,516	1,331,049	0.0	-2.2
二次製品他	〃	33,706,312	33,160,371	33,465,362	0.9	-0.7
(うち衣類)	〃	(28,238,381)	(27,640,747)	(27,720,571)	0.3	-1.8
輸出レート	円/ドル	121.1	108.7	112.1	3.2	-7.4
輸入レート	円/ドル	121.0	108.5	112.1	3.4	-7.3

(出所) 財務省

5) 化繊生産は、90万 2,248 トン・前年比（以下同じ）1.1%減と 6年連続前年を下回った。うちセルロース繊維 18万 4,399 トン・9.9%増、合繊 71万 7,849 トン・3.5%減。期末在庫は、8万 58 トンで 11.1%減、うちセルロース繊維 1万 6,795 トン・5.0%増、合繊 6万 3,263 トン・14.6%減であった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は、54.8 万トン・前年比（以下同じ）1.0%減。うち、繊維原料 20.5 万トン・10.4%減、糸類 12.4 万トン・5.7%増、織物類（面積ベース）6.2 億㎡ 1.0%増、二次製品 11.6 万トン・9.3%増となった。品種別では、レーヨンS 6.6%増、ナイロンF 14.1%増、ポリエステルF 0.7%増、ポリエステルS 28.7%減、アクリルS 1.8%減、織物類（面積ベース）はナイロンF 織物 2.2%減、ポリエステルF 織物 3.0%増、ポリエステルS 織物 3.1%減であった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は、160.8 万トン・前年比 1.7%増。繊維原料 9.7 万トン・10.2%増、糸類 22.3 万トン・0.8%減、織物類（面積ベース）は 6.1 億㎡・0.02%

減、二次製品 115.9 万トン・1.6%増、うち衣類 55.3 トン・2.1%減となった。品種別では、レーヨンS 1.8%増、ナイロンF 14.8%減、ポリエステルF 3.4%増、ポリエステルS 19.8%増、ポリエステル紡績糸 0.6%増、織物類（面積ベース）はポリエステルF織物 2.7%減、ポリエステルS織物 1.2%減であった。

化学繊維の主要指標

項目	単位	2015年	2016年	2017年	2016年比(%)	2015年比(%)
化繊生産	千トン	959.7	911.9	902.2	-1.1	-6.0
セルロース	〃	172.6	167.7	184.4	9.9	6.9
合 織	〃	787.1	744.2	717.8	-3.5	-8.8
化繊在庫	〃	88.4	90.0	80.1	-11.1	-9.4
セルロース	〃	13.1	16.0	16.8	5.0	28.0
合 織	〃	75.3	74.0	63.3	-14.6	-15.9
化繊輸出	千トン	646.3	553.3	547.5	-1.0	-15.3
	100万ドル	5,236.0	4,901.2	4,851.8	-1.0	-7.3
	億円	6,338.8	5,332.0	5,439.6	2.0	-14.2
繊維原料	千トン	325.6	228.2	204.5	-10.4	-37.2
糸 類	〃	117.0	117.7	124.4	5.7	6.3
織物類	百万㎡	623.7	612.4	618.8	1.0	-0.8
二次製品	千トン	102.7	106.2	116.1	9.3	13.1
化繊輸入	千トン	1,518.5	1,580.5	1,607.7	1.7	5.9
	100万ドル	17,396.3	17,391.7	17,096.6	-1.7	-1.7
	億円	21,048.0	18,811.2	19,172.6	1.9	-8.9
繊維原料	千トン	68.8	87.7	96.6	10.2	40.5
糸 類	〃	225.5	224.9	223.0	-0.8	-1.1
織物類	百万㎡	639.8	606.6	606.5	0.0	-5.2
二次製品他	千トン	1,096.6	1,140.9	1,159.5	1.6	5.7
(うち衣類)	〃	(555.0)	(564.4)	(552.6)	-2.1	-0.4

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合織品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2017年のポリエステルフィラメントの生産は12万979トン・前年比2.7%減、12月末在庫は1万121トン・前年同月比3.6%減。

婦人服用はファッション衣料分野で合織の機能（撥水・吸水速乾）や天然ライクが評価されてきたが消費不振が響き低調だった。ブラックフォーマルは主力の百貨店・専門店向けが盛り上らず、中東向け民族衣装「アバヤ」は原油価格の低位安定による現地の消費減退で数量減となった。裏地用はストレッチ、清涼、透防止などの機能品が堅調だが、全般は低調だった。遊泳水着用は関東地区の長雨の影響で店頭販売が不振だったため、2018年シーズン向けが懸念された。ランニング用は消費者が着衣よりもシューズに出費する傾向があり、ライフスタイル商品としてブラン

ド化が課題となっている。「ヨガ」用は国内・輸出用ともに堅調に推移した。中国では環境規制強化を背景に中小の製織、染工場の淘汰が進み、テキスタイルの供給不足が健在化してきた。

カーテンは家庭用が年間を通して盛り上がり欠けたが、コントラクト向けはインバウンド用ホテルの増加などで順調だった。

タイヤコード用は織物・強力糸の高水準の輸入が続き、殆どが海外からの調達となった。カーシート用は国内の自動車生産の増加で堅調に推移し、シートベルトおよびゴム資材用も順調だった。建築関係は一服状態だったが、東京五輪を控えて都市再開発事業によるオフィスビル、ホテル建築に期待したい。東日本大震災復興関係では耐用年数が経過した除染処理用のフレコンの更新需要が一巡して低調であった。フィラメント輸出は1万5,523トンを前年比0.7%増、香港3,114トンを2.2%増、中国2,778トンを34.1%増、ベトナム2,155トンを43.1%増、タイ2,103トンを1.0%増。フィラメント輸入は13万6,608トンを3.4%増、台湾4万9,668トンを1.7%増、タイ2万6,466トンを15.8%増、中国2万1,711トンを2.4%増、インドネシア1万3,924トンを9.9%減、韓国1万2,495トンを2.3%減。

<ポリエステルS>

2017年のポリエステルステーブルの生産は9万2,704トンを前年比16.8%減、12月末在庫は、1万1,467トンを前年同月比37.8%減。

紡績用はユニフォーム・ワーキング向けが堅調に推移した。中東民族衣装「トーブ」用の輸出は原油価格の低位安定による現地の消費の冷え込みで苦戦した。純糸使いの帆布向けは台風などの自然災害の多発を背景に備蓄用の荷動きがあった。

製綿用は9月以降低めの気温が続いたことで荷動きが出てきたが、機能品は以前の「防ダニ、防臭、抗菌」が中心で新商品の開発が見られず。中国からのステーブル輸入は再生品からヴァージン化が進んだ。小売販売の構造変化に伴い地方の専門店や通信カタログ販売が苦戦する一方、ネット販売が急拡大した。

不織布衛材用は中国向け紙おむつ・生理用品の製品輸出が17年に入り再び勢いを取り戻して堅調。生活資材用はコスメスキンケア商品、制汗シート、除菌ウェットなどが堅調に推移したが、貼布剤用は不振だった。車両資材用は自動車軽量化の流れを受けて吸音材などが堅調、湿式不織布のRO膜支持体向けは中国での家庭用浄水器の需要拡大を背景に堅調に推移した。

ステーブル輸出は1万4,321トンを前年比28.7%減、中国4,979トンを21.9%減。

ステーブル輸入は6万7,091トンを19.8%増、韓国2万9,207トンを22.0%増、中国1万3,398トンを3.5%増、インドネシア8,609トンを18.1%増、タイ7,340トンを49.0%増、台湾6,265トンを23.8%増。

<ナイロンF>

2017年のナイロンフィラメントの生産は9万6,648トンを前年比8.1%増、12月末在庫は、1万1,060トンを前年同月比3.7%増。

パンストはインバウンドの爆買いが沈静化した。タイツは継続した。9月以降の冷え込みにより大手SPAの軽量ダウンジャケットの販売が堅調に推移した。中国での環境規制強化を背景に盆明け以降、北陸産地からオーダーが増加し、機業場・染工場のスペース満杯と伝えられた。欧州向け高密度織物の輸出は過剰在庫から抜け出し堅調に推移した。

タイヤコード用はキャッププライ向けが安定した需要が続き、建機や中国の農機具タイヤ向けが堅調に推移した。国内大手デ IPP加工メーカーの工場火災の影響で、強力糸の輸入は大幅減となる一方、タイヤコード織物輸入が急増した。エアバッグ用は世界的な装着部位の拡大で、同用途向けの強力糸の輸出増加が続いた。タイルカーペットは一服したが、今後オフィスビル、インバウンド向けホテルに期待している。車両用は自動車の生産増を背景にオプションマット向けが好調に推移した。

フィラメント輸出は4万5,034トンを前年比14.1%の増、タイ1万6,660トンを11.2%増、中国9,922トンを30.6%増、フィリピン7,704トンを12.1%増、ベトナム3,254トンを2.0%減、韓国2,912トンを5.0%増、米国1,005トンを19.2%減。

フィラメント輸入は2万7,210トンを14.8%の減、米国5,451トンを27.2%減、台湾5,301トンを31.3%減、中国4,840トンを0.5%減、韓国3,482トンを12.1%減。

<アクリルS>

2017年のアクリルステーブルの生産は12万271トンを前年比5.4%減、12月末在庫は、8,601トンを前年同月比31.8%減。

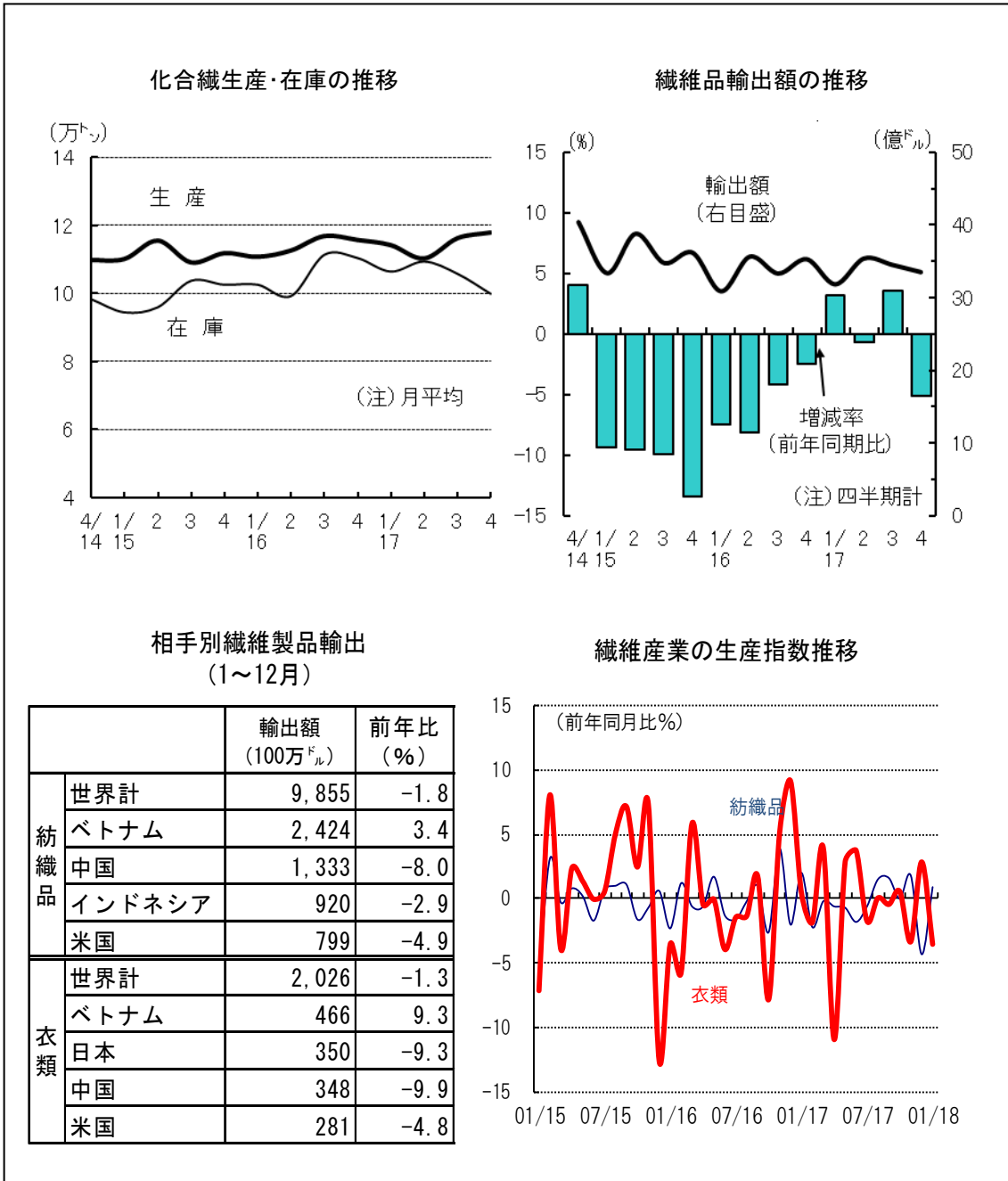
保温肌着用のステーブルの出荷は順調、大手SPAの店頭販売は9月以降の冷え込みで堅調に推移し、消費者の購入先も大手SPAへの集中が更に進んだ。国産アクリル使いのセーター向けは低位安定が続き、スクール関係やブランド企画ものに対応しているが少量に止まる。

毛布は泉大津産地で染工場が廃業し、産地の縮小が更に進んだ。カーペット関係も水回りのピース向けが残る程度で長繊維化が進み不振だった。

ステーブルの輸出は最大仕向地の中国が5万6,238トンを前年比8.5%増と上向いたが前々年(2015年)比では26.3%の大幅減であった。エコファー中心の欧米向け再輸出用は過剰在庫の解消や「動物愛護」の機運の高まりなど堅調だった。一方、中国国内需用はAD課税、アクリル代替のポリエステル品質が急速に向上したため不振であった。粗原料ANの価格は中国の環境規制強化、旺盛なABS需要、米国のハリケーンなどが影響して高騰した。

中国以外ではインドネシア1万1,105トンを12.7%増、イラン8,626トンを46.5%増。

(7) 韓国



・概況

2017年は、合繊生産は前年に続き増産となり、繊維品輸出は4年ぶりに増加した。

・合繊生産

合繊生産は前年比1.9%増の137.7万ト、前年に続き前年実績を上回った。

主要合繊の生産をみると、主力のポリエステルFは前年比3.4%減の60.4万ト、ナイロンFは同6.0%減の9.5万ト、ポリエステルSは、堅調な短繊維輸出もあり、同5.4%増の62.1万ト、アクリルSは5.9%増の5.6万トとなった。年末在庫は前年末比8.8%減の9.8万トとなった。

主要合繊の生産高

(1000ト、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
ナイロンF	128	115	107	101	95	-6.0
ポリエステルF	742	659	622	625	604	-3.4
ポリエステルS	533	543	567	589	621	5.4
アクリルS	55	50	44	53	56	5.9
合繊合計	1,458	1,367	1,340	1,368	1,377	0.6

・合繊生産能力

合繊の2017年末設備能力は日産4,995トとなり、前年比で11ト増加のほぼ横ばいであった。品種別には、ポリエステルFが16ト増加した一方、ポリエステルSが5ト減少した。

年平均稼働率は合繊平均で75.5%と前年より0.3ポイント上昇した。長繊維は前年に比べ下落したが、短繊維は上昇した。

主要合繊の生産能力（年末値）

(日産ト)

	2013	2014	2015	2016	2017	増減
ナイロンF	611	608	608	569	569	0
ポリエステルF	2,430	2,430	2,376	2,218	2,234	16
ポリエステルS	1,622	1,622	1,822	2,017	2,012	-5
アクリルS	180	180	180	180	180	0
合繊合計	4,843	4,840	4,986	4,984	4,995	11

主要合繊の稼働率

(%)

	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	合繊計
2016.1~12	48.7	77.3	80.0	80.5	75.2
2017.1~12	45.7	74.1	84.6	85.2	75.5

・輸 出

繊維品輸出は前年比0.1%増の134.7億ドルと微増ながら4年ぶりに前年実績を上回った。段階別にみると、繊維原料は同15.9%増の16.5億ドル、糸類は同5.4%増の13.8億ドルと増加したが、織物類は同4.4%減の28.6億ドル、衣類は同1.3%減の20.2億ドル、その他二次製品は同2.3%減の55.7億ドルとなった。

仕向地別に繊維品輸出をみると、紡織品、衣類ともベトナム向けが最大でともに増加した。紡織品は前年比3.4%増、衣類は同9.3%増であった。

繊維品輸出実績

(100万^{ドル}、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
繊維原料	1,835	1,805	1,538	1,423	1,650	15.9
糸類	1,715	1,632	1,446	1,304	1,375	5.4
織物類	3,622	3,648	3,295	2,986	2,856	-4.4
衣類	2,095	2,233	2,112	2,046	2,019	-1.3
その他二次製品	6,671	6,581	5,851	5,699	5,568	-2.3
ニット生地	4,088	3,931	3,516	3,385	3,253	-3.9
繊維品合計	15,939	15,899	14,241	13,458	13,467	0.1

・輸 入

繊維品輸入は前年比 4.8%増の 152.1 億^{ドル}となった。その結果、前年に引き続き韓国の繊維品貿易バランスは入超となり入超幅は拡大している。

段階別にみると、繊維原料は同 1.7%減の 9.3 億^{ドル}、糸類は同 3.0%減の 17.9 億^{ドル}、織物類は同 2.9%減の 11.9 億^{ドル}と減少したが、衣類は同 7.8%増の 93.2 億^{ドル}、その他二次製品は同 7.1%増の 19.8 億^{ドル}とともに増加した。

仕出地別にみると、中国からの輸入は前年比 2.9%減の 60.6 億^{ドル}と続落、シェアは仕出地別にみると、中国からの輸入は前年比 0.9%減の 60.0 億^{ドル}と続落、シェアは 39.4%と前年より 2.3 ポイント下落した。第 2 位のベトナムは 16.9%増の 35.8 億^{ドル}と続伸、シェアは 23.5%と前年より 2.4 ポイント上昇した。

繊維品輸入実績

(100万^{ドル}、%)

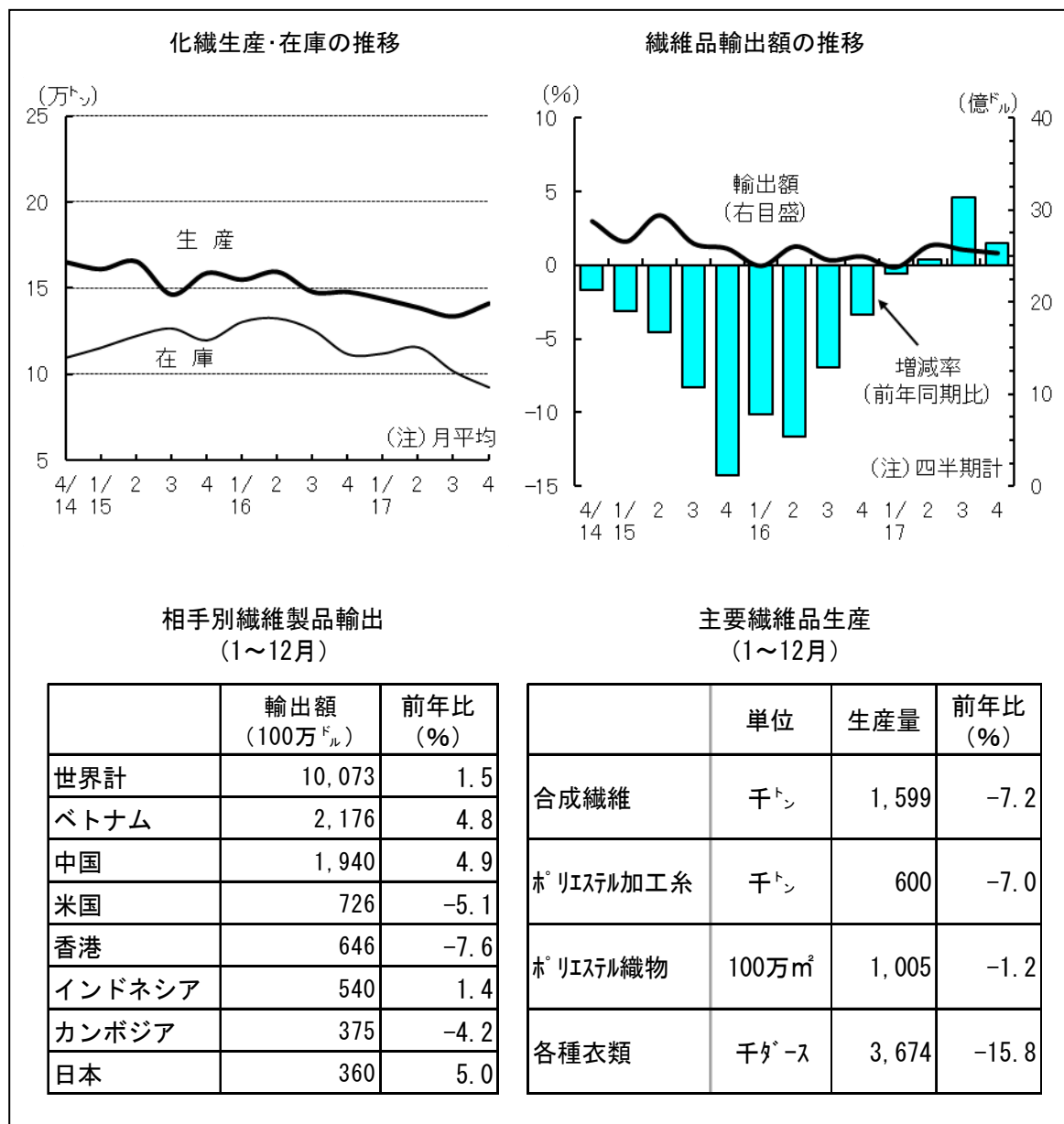
	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
繊維原料	1,203	1,135	1,038	943	927	-1.7
糸類	2,120	2,081	1,904	1,850	1,794	-3.0
織物類	1,317	1,306	1,275	1,223	1,187	-2.9
衣類	7,541	8,484	8,520	8,646	9,321	7.8
その他二次製品	1,637	1,819	1,823	1,853	1,984	7.1
繊維品合計	13,818	14,824	14,560	14,515	15,213	4.8

繊維品仕出地別輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
全世界	13,818	14,824	14,560	14,515	15,213	4.8
中国	6,199	6,421	6,237	6,056	6,001	-0.9
ベトナム	2,247	2,699	2,770	3,057	3,575	16.9
インドネシア	746	763	749	773	817	5.7
イタリア	524	592	616	648	725	11.9
米国	534	587	612	449	545	21.4
日本	428	463	433	459	436	-5.0

(8) 台湾



・概況

2017年台湾の繊維産業は、繊維生産、化合繊生産とも減少が続く一方、繊維品輸出は6年ぶりに前年実績を上回った。

・化繊生産

2017年の化合繊生産は前年比8.8%減の166.9万トン、4年連続の前年実績割れとなった。

主要品種別にみると、ナイロンFは前年比2.6%減の26.5万トン、ポリエステルFは同8.2%減の79.0万トン、ポリエステルSは同3.3%減の51.5万トン、アクリルSは生産企業の減少もあり同49.6%減の2.9万トンとなった。

主要化合繊の生産高

(1000トン、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
ナイロンF	316	309	292	272	265	-2.6
ポリエステルF	923	919	924	861	790	-8.2
ポリエステルS	538	529	515	532	515	-3.3
アクリルS	68	62	57	58	29	-49.6
化合繊合計	1,965	1,945	1,915	1,830	1,669	-8.8

・設 備

2017年末の主要化合繊の設備は前年末の水準と比べ791トン減の6,347トンとなった。品種別にみると、ナイロンFで42トン、ポリエステルFで410トン、同Sで3トン、アクリルSで120トン減少した。

稼働率は、化合繊全体では72.1%と、生産が減少したものの、生産能力も縮小したため、前年より1.9ポイント上昇した。

主要化合繊の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2013	2014	2015	2016	2017	増減
ナイロンF	1,393	1,311	1,253	1,015	973	-42
ポリエステルF	3,545	3,433	3,394	3,417	3,007	-410
ポリエステルS	2,036	2,017	2,047	1,972	1,969	-3
アクリルS	300	270	270	270	150	-120
化合繊合計	7,764	7,521	7,428	7,138	6,347	-791

主要化合繊の稼働率

(%)

	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	化合繊合計
2016.1～12	73.3	69.0	74.0	58.7	70.2
2017.1～12	74.5	72.0	71.6	53.2	72.1

・輸 出

繊維品輸出は前年比1.9%増の105.9億ドルと6年ぶりに前年実績を上回った。段階別にみると、繊維原料は同6.1%減の9.1億ドル、糸類は同6.0%増の14.6億ドル、織物類は同3.4%増の25.4億ドル、衣類は同3.0%減の6.5億ドル、その他二次製品（ニット生地、不織布、産業資材、家庭用品等）は同2.2%増の50.4億ドルとなった。

繊維製品輸出を主要仕向地別にみると、第1位のベトナムは前年比4.8%増の21.8億ドルとなった。第2位の中国は同4.9%増の19.4億ドルとなった。第3位の米国向けは同5.1%減、第4位の香港は同7.6%減となった。

繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
繊維原料	1,283	1,255	1,024	968	908	-6.1
糸類	2,040	1,905	1,525	1,373	1,456	6.0
織物類	2,913	2,942	2,691	2,453	2,537	3.4
衣類	842	819	776	665	646	-3.0
その他二次製品	5,105	5,166	5,257	4,934	5,041	2.2
ニット生地	2,620	2,673	2,806	2,582	2,615	1.3
繊維品計	12,183	12,086	11,273	10,393	10,588	1.9

・輸 入

繊維品輸入は前年比1.7%増の35.8億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は同14.1%増、糸類は同11.1%増、織物類は同10.3%増といずれも2桁増となったが、主力の衣類は同4.1%減となった。その他二次製品は同3.7%増のであった。

仕向地別にみると、最大の中国から輸入は前年比1.7%増の15.1億ドル、シエラは42.2%と前年と変わらずであった。第2位のベトナムからの輸入は同3.6%増の3.9億ドル、シエラは10.9%と前年比0.2ポイント上昇した。

繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

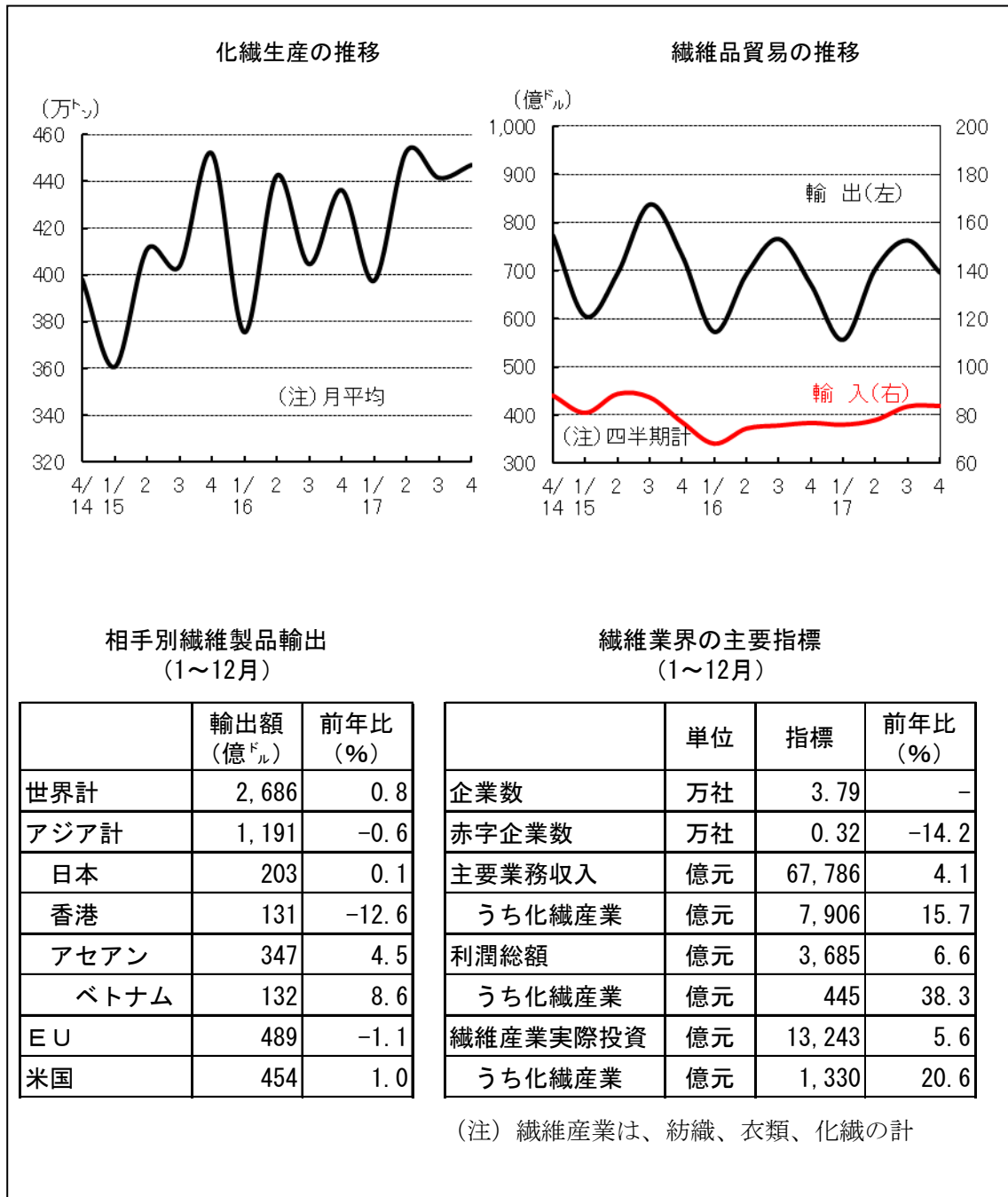
	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
繊維原料	670	612	505	434	495	14.1
糸類	425	397	402	341	379	11.1
織物類	210	235	209	197	217	10.3
衣類	1,596	1,746	1,916	1,943	1,863	-4.1
その他二次製品	557	607	588	602	624	3.7
繊維品計	3,459	3,597	3,620	3,520	3,579	1.7

繊維品仕出地別輸入実績

(100万ドル、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
全世界	3,459	3,597	3,620	3,520	3,579	1.7
中国	1,341	1,524	1,550	1,486	1,511	1.7
ベトナム	273	300	370	376	390	3.6
米国	240	228	228	234	251	7.2
日本	265	251	227	226	227	0.1
インドネシア	142	152	161	144	125	-13.1

9) 中国



社会小売財消費総額
(1~12月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	366,262	10.2
うち繊維品等	億元	14,557	7.8

繊維関連物消費者物価指数
(1~12月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	1.6
消費者価格指数・衣類等	1.3

・概 況

2017年の中国の繊維産業は、全般的には、生産、内需等は堅調に推移した。繊維品輸出は3年ぶりの増加となった。

2017年の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は4.1%増、利潤総額は6.6%増と堅調であった。繊維産業の投資は5.6%増とここ2年1桁の伸びに鈍化した。一方で、化繊産業は、主要業務収入、利潤総額とも大幅増と好調に推移し、化繊産業の投資が前年の横ばいから一転、20.6%の大幅増となった。

・生産動向

主要な繊維品生産をみると、化合繊は5.0%増、紡績糸は5.1%増、織物は5.6%増といずれも前年に続き1ケタ台の伸びにとどまった。衣類生産は、同2.6%減の287.8億点と減産に転じている。また、これまで好調であった不織布生産は同0.1%増の415.6万トンであった。

主要繊維品の生産動向

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
化合繊 (1000 トン)	41,338	43,307	47,627	46,853	49,196	5.0
合繊 (1000 トン)	37,315	40,439	43,829	42,653	44,808	5.1
紡績糸 (1000 トン)	36,113	38,658	39,029	38,352	40,500	5.6
織物 (億 m)	683	689	696	687	696	1.2

化学繊維の品種別生産動向

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
レーヨン	3,904	3,313	3,463	3,735	3,890	4.1
ナイロン	2,113	2,357	2,771	3,059	3,329	8.8
ポリエステル	33,406	32,177	36,608	37,526	39,343	4.8
アクリル	694	629	674	720	719	-0.1
ポリプロピレン	264	263	260	253	294	16.2
ポリウレタン	390	484	513	510	551	8.0
化合繊合計	41,219	43,307	47,545	46,853	49,196	5.0

繊維関連内需をみると、衣料用内需は引続き堅調に推移した。2017年の繊維品に関する社会小売消費総額は前年同期比7.8%増となった。中でもインターネット販売の伸びが急増、2017年の衣類のネット販売額は約2割の伸びに達した。

・輸 出

繊維品輸出は前年比1.6%増の2,702億ドル、3年ぶりの増加となった。段階別にみると、繊維原料は同12.8%増の35億ドル、紡織品は同4.4%増の1,092億ドルと増加したが、衣類等二次製品は同0.4%減の1,575億ドルと減少した。二次製品段階の輸出では、欧米等の主力市場でベトナムやバングラデシュ等の低コスト国との競争が強まっており、

中国品のシェアが低下している。

繊維製品輸出を仕向地別にみると、アジア向けは前年比 0.6%減と微減、EU 向けは同 1.1%減、米国向けは同 1.0%増となった。

主要化合繊ファイバー輸出量は前年比 3.6%増の 411 万トンとなった。品目別にはポリエステル F は 3.3%増の 207 万トン、同 S は 0.2%減の 102 万トンとなった。

繊維品輸出実績

(100 万ドル、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
繊維原料	3,162	3,441	3,168	3,086	3,481	12.8
紡織品	106,590	111,633	108,957	104,612	109,215	4.4
衣類	177,450	186,571	174,589	158,123	157,490	-0.4
繊維品計	287,202	301,767	286,850	265,932	270,187	1.6

主要化合繊ファイバー輸出実績

(1000 トン、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
化合繊計	2,704	3,284	3,440	3,968	4,112	3.6
ナイロン F	156	176	186	222	240	8.3
ポリエステル F	1,308	1,593	1,712	2,003	2,069	3.3
ポリエステル S	734	891	958	1,020	1,018	-0.2
レーヨン S	175	258	216	311	309	-0.6

主要化合繊ファイバー相手別輸出実績

(1000 トン、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
全世界	2,704	3,284	3,440	3,968	4,112	3.6
トルコ	288	336	355	424	432	1.9
米国	271	316	371	385	365	-5.4
ベトナム	200	237	265	306	324	5.9
パキスタン	262	320	344	353	318	-9.8
インドネシア	133	202	187	276	263	-4.5

・輸 入

繊維品輸入は前年比 9.6%増の 322 億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は同 22.9%増の 77 億ドルの大幅増となった。紡織品は同 3.7%増の 173 億ドル、衣類等二次製品は同 11.3%増の 72 億ドルと増加した。

繊維品輸入を相手別にみると、中国企業の進出が多いベトナムからの輸入が前年比 22.3%増と大幅増が続いている。

2017 年の綿花輸入は前年比 25.2%増の 126 万トン（金額ベースでは 37.7%増）と前年の大幅減から一転大幅増となった。

繊維品輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
繊維原料	14,650	10,744	7,949	6,270	7,706	22.9
紡織品	21,567	20,246	18,966	16,671	17,288	3.7
衣類	5,322	6,163	6,568	6,472	7,203	11.3
繊維品計	41,540	37,178	33,447	29,367	32,197	9.6

繊維品の仕出地別輸入実績

(100万^{ドル}、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
全世界	41,365	36,992	33,290	29,375	31,992	8.9
ベトナム	1,570	2,165	2,546	3,003	3,673	22.3
日本	3,585	3,294	2,854	2,642	2,741	3.7
台湾	3,385	3,207	2,883	2,592	2,639	1.8
豪州	3,677	2,624	2,054	2,025	2,544	25.6
中国	3,934	3,561	3,218	2,667	2,537	-4.9

*この表の繊維品の構成は上表と異なる。

中国の綿花輸入実績

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
数量 (1,000 ^{ドル})	4,347	2,542	1,561	1,006	1,260	25.2
金額 (100万 ^{ドル})	8,655	5,102	2,655	1,667	2,295	37.7

2017年の主要合繊輸入主要合繊原料輸入はいずれも増加した。主要合繊輸入を仕出地別にみると、合繊4品種とも依然として日韓台からの輸入が全体の6~7割を占めている。

主要合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

(1000^{トン}、%)

	2013	2014	2015	2016	2017	前年比(%)
ナイロンF	172	153	128	124	126	1.8
ポリエステルF	117	112	111	124	136	9.3
ポリエステルS	128	133	127	124	159	28.8
アクリルS	212	159	159	138	147	6.7
EG	8,246	8,450	8,772	7,573	8,750	15.5
PTA	2,743	1,164	752	502	544	8.3
CPL	453	223	224	221	237	7.5

	日本	韓国	台湾	その他	合計
ナイロンF	10	12	56	49	126
ポリエステルF	6	23	60	47	136
ポリエステルS	4	90	24	41	159
アクリルS	57	10	22	58	147

10) 米 国

・概 況

2017年の米国の合繊生産は前年比1.0%増の294.4万トと2年連続で増加した。主力用途のカーペット用ではポリエステルFが増加したのに対し、ナイロンFは減少した。繊維産業の生産指数は、紡織工業（生地や染色加工など）が2.4%低下、紡織製品（カーペットなどインテリア用途など）が0.5%低下、衣類が9.2%低下といずれも低下した。繊維製品輸入は全体で前年比1.3%増の1,060億ドルと増加に転じたが、衣類輸入でみると全体で0.5%減、うち中国が3.2%減、ベトナムが7.0%増となった。衣料輸入全体に占める中国の割合は33.7%と前年の34.6%から0.9ポイント低下した。

・合繊生産

合繊生産を主要品種別にみると、ナイロンFは主力のカーペット用が3.0%減の43.1万トと減少し、全体で3.4%減の51.8万トと2年ぶりに減少、このほか産資用が3.3%減の6.5万ト、紡織用が11.7%減の2.3万トといずれも減少した。ポリエステルFは0.2%減の64.5万ト。主力のカーペット用が5.6%増の43.2万トと増加が継続し、紡織用が7.2%減の15.4万ト、産資用が17.4%減の5.8万トと減少した。ポリエステルSは4.7%増の66.5万ト。国内向け出荷は不織布用が増加したが、カーペット用は減少した。オレフィンFが2.8%増の95.2万ト、同Sが3.1%減の16.4万ト。オレフィンFの国内向け出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが前年比2.1%増、マルチフィラメントが5.6%増といずれも増加した。

主要品種別合繊生産

(1000ト)

	2016	2017	前年比(%)
ナイロンF	536.6	518.1	-3.4
産資用	66.6	64.5	-3.3
カーペット用	444.0	430.7	-3.0
紡織用	26.0	23.0	-11.7
ポリエステルF	646.1	644.6	-0.2
産資用	70.3	58.1	-17.4
カーペット用	409.3	432.1	5.6
紡織用	166.5	154.4	-7.2
ポリエステルS	635.4	665.3	4.7
オレフィンF	926.2	952.0	2.8
オレフィンS	169.4	164.2	-3.1
合繊計	2,913.8	2,944.3	1.0

(出所) Fiber Review

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、生産指数が前年比 2.4%低下した。内訳で見ると糸・縫糸が 2.5%上昇したものの、生地が 4.7%、染色加工が 1.5%の低下となった。

紡織製品の生産指数は 0.5%低下した。インテリア製品は全体で 3.0%低下、内訳ではカーペット用等が 2.2%低下した。衣料は 9.2%低下し、2012 年比で 3 割近く低下した。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2012=100、%)

業種	2013	2014	2015	2016	2017	前年比
鉱工業	102.0	105.1	104.4	103.1	105.0	1.8
紡織工業	104.4	101.9	100.0	98.4	96.0	-2.4
糸・縫糸	104.9	105.5	106.9	104.1	106.7	2.5
生地	102.8	98.6	94.1	95.4	90.9	-4.7
染色加工	107.5	106.5	108.0	100.6	99.0	-1.5
紡織製品	102.7	110.6	111.2	114.0	113.5	-0.5
紡織インテリア製品	100.7	106.7	107.5	108.0	104.7	-3.0
カーペット等	102.6	105.6	106.6	105.0	102.8	-2.2
その他紡織製品	104.9	114.6	115.0	120.5	122.9	2.0
衣料	92.6	88.8	87.9	78.2	71.0	-9.2

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2017 年の繊維製品輸入は前年比 1.3%増の 1,060 億ドルと 2 年ぶりに増加した。仕出地別にみると、全体の 4 割近くを占める中国が 0.6%増と微増となった他、第 2 位のベトナムが 7.7%増、インドが 2.4%増、近隣国のメキシコが 7.1%増と増加した。

衣類輸入は 0.5%減の 803 億ドル。ベトナムが 7.0%増と増加継続したものの、最大仕出国の中国が 3.2%減と減少が続いたほか、バングラデシュが 4.5%減、インドネシアが 3.0%減と減少した。インドは 1.2%増加した。

中国の衣料輸入全体に占める割合は 33.7%と、前年の 34.6%から 0.9 ポイント低下した。

繊維製品輸入実績

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2016年	2017年	前年比(%)	仕出地	2016年	2017年	前年比(%)
中国	38,517	38,741	0.6	中国	27,915	27,032	-3.2
ベトナム	11,318	12,190	7.7	ベトナム	10,803	11,561	7.0
インド	7,218	7,389	2.4	バングラデシュ	5,304	5,068	-4.5
バングラデシュ	5,491	5,273	-4.0	インドネシア	4,706	4,566	-3.0
メキシコ	4,460	4,776	7.1	インド	3,639	3,682	1.2
世界	104,664	105,992	1.3	世界	80,682	80,289	-0.5

(出所) 米商務省

11) 欧州

・概況

2017年の欧州の合繊生産は紡織用ポリエステルFが大幅に増加したのを中心に、産資用ポリエステルF、ナイロンF、ポリエステルSのいずれも増加した。

域内の生産活動は紡織工業が前年比3.0%上昇、衣料工業が2.3%低下となった。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）は前年比1.7%増の1,181億ユーロ。最大仕出国の中国が0.5%減とわずかに減少したが、バングラデシュ、トルコ、ASEANなどが増加した。

・合繊生産

合繊生産は、紡織用ポリエステルFが前年比33.3%増の26.0万トと大幅に増加したほか、産資用ポリエステルFが1.5%増の14.2万ト、産資用ナイロンFが6.4%増の11.5万トといずれも増加した。ポリエステルSは3.2%増の71.3万トと2年連続で増加した。

主要合繊の生産高

(1000ト、%)

	2014	2015	2016	2017	前年比
産資用ナイロンF	110.8	104.7	107.6	114.5	6.4
紡織用ポリエステルF	233.7	200.8	195.4	260.4	33.3
産資用ポリエステルF*	133.8	136.7	139.8	141.9	1.5
ポリエステルS*	662.9	651.6	691.1	713.1	3.2

(出所) CIRFS

(注) その他の品種は未発表。*ベラルーシを含む。

・紡織・衣料生産

2017年のEU28の紡織工業の生産指数は前年比3.0%上昇した。国別でみると英国が8.8%上昇したのをはじめドイツが3.3%、フランスが1.3%上昇したのに対し、イタリアが0.4%低下した。

衣料工業の生産指数はEU28全体が2.3%の低下。英国が7.6%、イタリアが5.6%とそれぞれ大幅に低下したほか、ドイツが1.7%、フランスが0.4%と主要国がいずれも低下した。

紡織・衣料工業の生産指数の推移

(2015=100、%)

	紡織工業				衣料工業			
	2015	2016	2017	前年比	2015	2016	2017	前年比
EU28	100.0	101.4	104.4	3.0	100.0	100.2	97.9	-2.3
ドイツ	99.8	101.3	104.6	3.3	99.9	99.6	97.9	-1.7
フランス	100.0	98.4	99.7	1.3	100.0	99.7	99.3	-0.4
イタリア	100.0	101.3	100.9	-0.4	100.0	98.2	92.7	-5.6
英国	100.0	100.2	109.0	8.8	100.0	95.2	88.0	-7.6

(出所) Eurostat

・輸 入

2017年のEU28の繊維製品輸入（域外輸入）は、前年比1.7%増の1,181億ユーロであった。

仕出地別にみると、最大仕出国の中国が0.5%減の396億ユーロと減少したのに対し、バングラデシュが2.5%増の158億ユーロと増加が継続し、欧州と地理的に近いトルコ（0.4%増、147億ユーロ）を引き続き上回った。ASEANも8.3%増の130億ユーロと拡大基調が続き、3年連続で100億ユーロを上回った。ASEANの中ではカンボジアが8.6%増の37億ユーロとベトナム（5.8%増、37億ユーロ）を上回って域内最大の仕出国となった。また同じく低コスト国のミャンマーが61.9%増の11億ユーロと急増し、マレーシアやタイと同水準の輸入額となった。

最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は2016年の34.3%から33.6%に低下した。一方で、ASEANは10.4%から11.0%にシェアが拡大した。

EU28の繊維製品輸入（域外輸入）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2015	2016	2017	前年比
世界計	115,415	116,071	118,062	1.7
中国	41,996	39,819	39,620	-0.5
バングラデシュ	14,128	15,387	15,776	2.5
トルコ	14,411	14,622	14,688	0.4
ASEAN	11,192	12,041	13,035	8.3
カンボジア	2,980	3,434	3,731	8.6
ベトナム	3,274	3,494	3,697	5.8
インドネシア	1,801	1,781	1,696	-4.8
マレーシア	1,193	1,158	1,273	9.9
ミャンマー	425	697	1,128	61.9
タイ	1,078	1,028	1,058	2.9
インド	8,310	8,335	8,323	-0.1
モロッコ	2,558	2,804	2,934	4.6
チュニジア	2,305	2,268	2,267	-0.1
米国	1,991	1,886	1,848	-2.0
スイス	1,632	1,639	1,691	3.1
韓国	1,269	1,230	1,239	0.7
エジプト	926	880	918	4.3
日本	732	821	865	5.4

(出所) Eurostat

合織4品種需要実績(2017年10～12月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トﾝ、%)

		2017年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	23,283	98.8	97.7
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	38,358	102.4	98.3
	計 (輸入)	61,641 (34,328)	101.0 (100.0)	98.1 (99.9)
輸出 (原糸、加工糸)		1,511	91.6	82.8
需要計		63,152	100.8	97.6
在庫		10,121	93.9	96.4

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トﾝ、%)

		2017年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,970	87.9	83.9
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	34,356	94.3	91.1
	計 (輸入)	39,326 (17,962)	102.2 (110.9)	98.6 (109.3)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		1,413	73.1	57.7
需要計		40,739	100.8	96.3
在庫		11,467	81.8	62.2

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トﾝ、%)

		2017年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,634	103.8	99.2
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	15,997	95.4	91.8
	計 (輸入)	21,631 (6,146)	97.4 (88.2)	93.6 (73.5)
輸出 (原糸、加工糸)		8,563	98.1	113.0
需要計		30,194	97.6	98.4
在庫		11,060	89.6	103.7

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トﾝ、%)

		2017年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,128	111.6	122.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,391	92.8	94.4
	計 (輸入)	6,519 (122)	106.9 (99.2)	114.9 (32.7)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		21,250	81.0	102.2
需要計		27,769	85.9	104.9
在庫		8,601	81.2	68.2

(注)国内需要の()内数値は輸入量